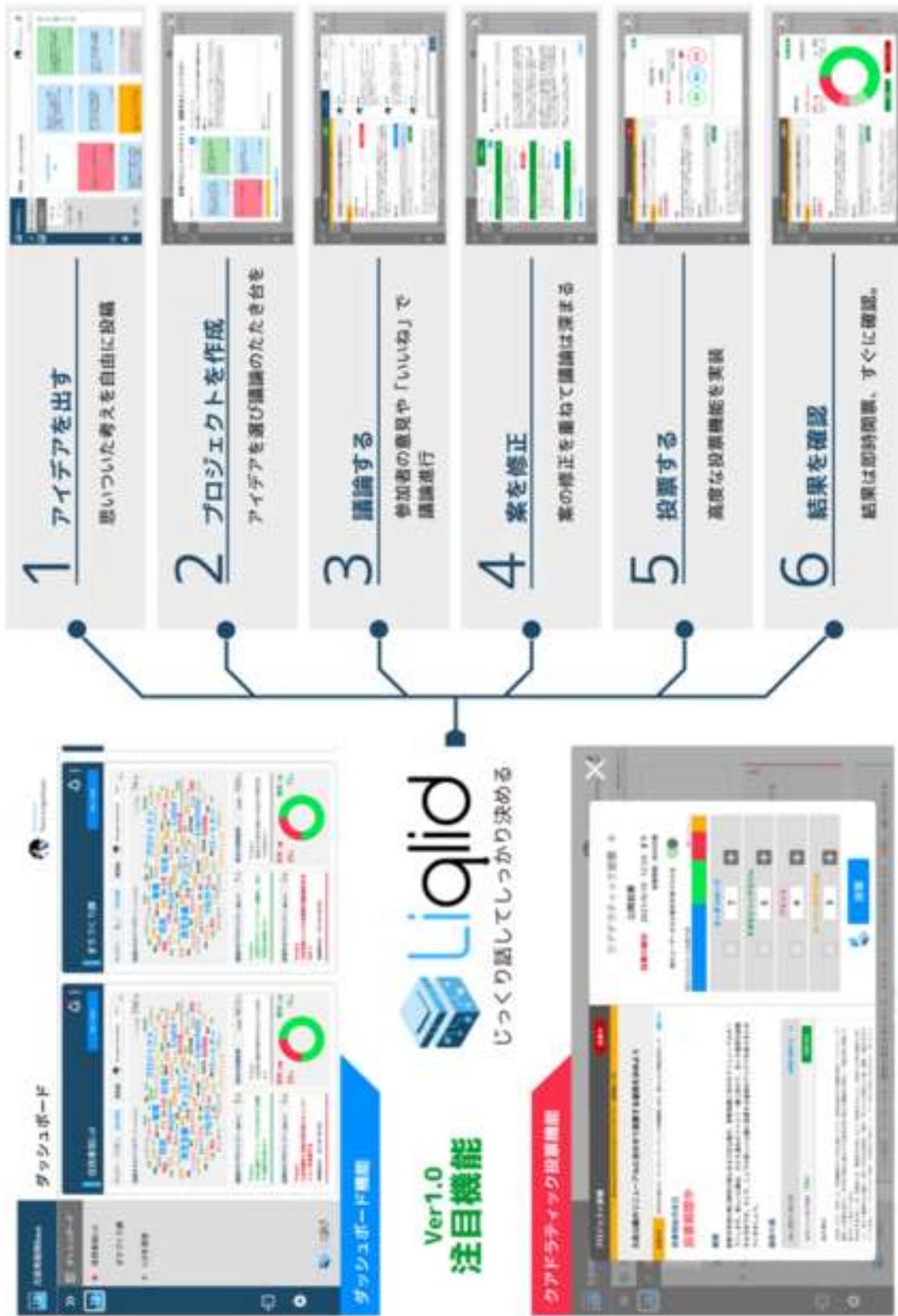


他自治体の合意形成の仕組み事例

自治体名	東京都府中市
名称	Liquid
導入時期	令和 2 年～令和 3 年
導入の背景	<ul style="list-style-type: none"> ・府中市の課題：(1)施設の老朽化の進行(2)義務的経費の増加と令和 12 年をピークとした人口減少を前提とした、公共施設維持経費の見直しの必要性(3)多様化する市民ニーズ ・府中市は、文化・スポーツ施設の適正配置等のあり方について、令和 6 年度を目途に定めていく予定である。 ・(株)Liquidous は、府中市が実施する「令和 3 年度コロナ課題解決型ソーシャルビジネス協働事業」として、「オンラインのプラットフォームで文化・スポーツ施設の適正配置等のあり方をみんなで考えるプロジェクト」を提案し、採択された。 ・「文化・スポーツ施設の適正配置等のあり方」についての情報整理期間におけるオンライン上での市民参加の仕組みとして、Liquidous が開発する、オンラインの参加型合意形成プラットフォーム「Liquid」を運用した。
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・「Liquid」は、Web アプリケーションとして、「アイデアを出す」「共同で文書を作り上げる」「意向調査を行う」「結果が表示・保存される」という段階を一貫して実行できる。 ・各段階で積極的にアイデアを投稿したり共同で文書を作る過程で修正の提案をしたりと、「いつでも、どこでも、誰でも」参加できるシステム設計に基づいている。 ・プロジェクトへの積極的な参画から、負担感の軽い参画まで、個々のニーズに合った形で参画できる仕組みである。
備考	Liquid は埼玉県横瀬町においても 2021 年に実証実験が行われたほか、大阪府河内長野市でも導入される。



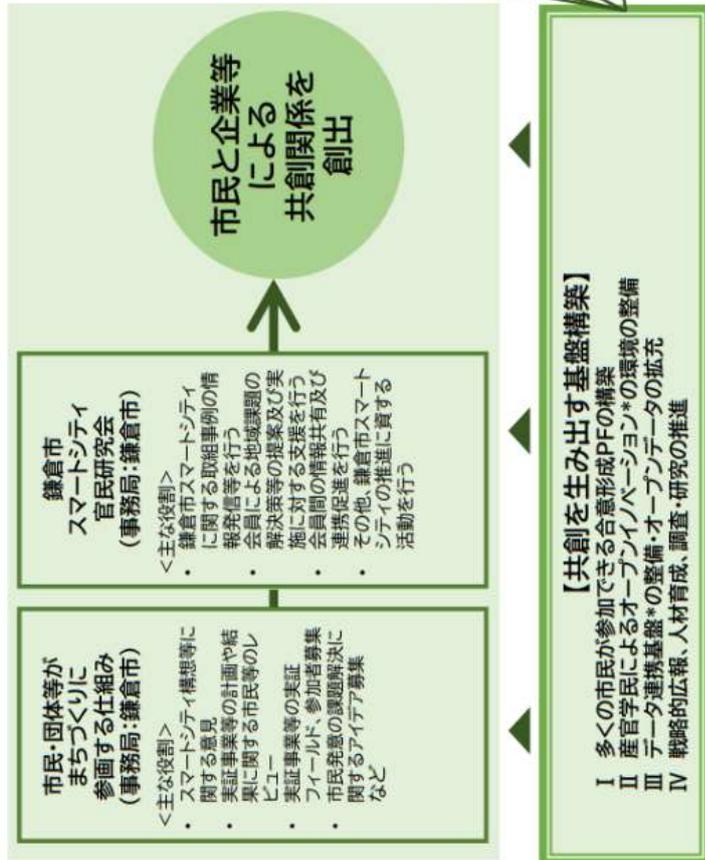
<https://prt看es.jp/main/html/rd/p/00000011.000054692.html>

自治体名	神奈川県鎌倉市
名称	鎌倉市スマートシティ構想
導入時期	検討段階
導入の背景	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鎌倉市は少子高齢化をはじめ、災害への脆弱性、オーバーツーリズムや慢性的な交通渋滞といった課題が山積している。 ・ 現在と未来の課題に対応できる仕組みや体制を構築するとともに、地域が自律的に成長する力を育て、市民のQoLとまちの魅力向上を図るため、2020年4月に産官学民の共創によるスマートシティの取組に着手した。
概要	<ul style="list-style-type: none"> ① オンライン合意形成 PF の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民起点の実現と新たなコミュニティの形成 ・ オンラインとオフラインを組合せ、誰もがオープンに参加可能な仕組みの構築 ② データ利活用等と官民共創の取組との連動 <ul style="list-style-type: none"> ・ プライバシー保護と透明性確保、リスクや倫理的課題の明確化の徹底
備考	<p>第2回鎌倉版「スマートシティ」市民対話（令和3年10月）の議題の一つ</p> <p>「スマートシティの具体的なプロジェクトの共創に市民が参加するためには、どのような仕組み・仕掛け・場(プラットフォーム)が必要だろうか？」</p>

4 推進体制

推進体制

- 鎌倉市スマートシティでは、市民のQOL・まちの魅力向上に向けて、まちづくりを担う市民・団体等と、先端技術・サービスの開発・提供を担う鎌倉市スマートシティ官民研究会との連携を促し、共創関係の創出により課題解決に取り組めます。



1 構想の概要	2 環境の変化	3 理念・原則	4 推進体制
5 リーディングプロジェクト	6 連携事業	7 住みやすさと幸福度	用語解説

9

共創を生み出す基盤

I 多くの市民が参加できる合意形成PFの構築

- オンライン合意形成PFの構築
 - 市民起点の表現と新たなコミュニティの形成
 - オンラインとオフラインを組合せ、誰もがオープンに参加可能な仕組みの構築
- データ活用等と官民共創の取組との連動
 - プライバシー保護と透明性確保、リスクや倫理的課題の明確化の徹底

II 産官学民によるオープンイノベーションの環境の整備

- 市内推進体制の強化
 - 官民共創による推進体制の強化
 - 外部人材の活用
 - 鎌倉市スマートシティ官民研究会を活用した連携促進
 - 縦割りの打破
 - 市民と企業等の共創関係を創出する実証事業等の推進
 - 新産業創出、神奈川県のパベンチャー支援との連携強化
- 大学等との連携
 - 共同研究の促進

III データ連携基盤の整備・オープンデータの拡充

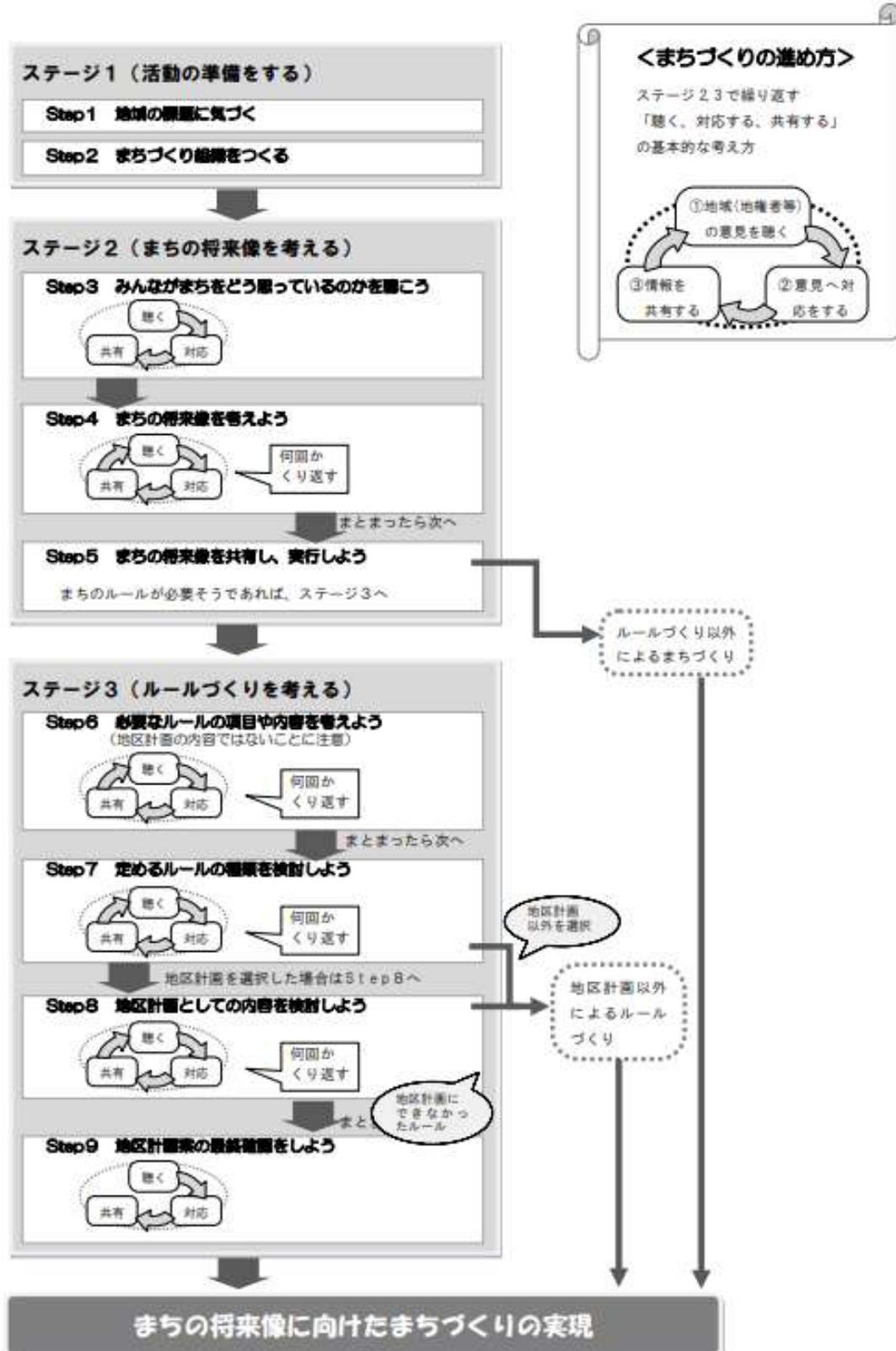
- 官民によるデータ活用促進
 - データ流通PFの構築(取引条件・仲介機能)
 - 提供者の課題と利用者のニーズの把握
 - ユースケース(事例)の創出 (行政や企業を対象としたアイデアソン*・ハッカソン*等の開催)
 - データ流通・利活用のケーススタディ*
 - EBPM*の推進、データ連携基盤の実証環境の整備等
 - 事業の実施やルールの整備
 - システム基盤の構築
- 行政データの整備
 - オープンデータの拡充 (紙データ等のデジタル化やデータのクレンジング*、一元化・標準化の実施)

IV 戦略的広報、人材育成、調査・研究の推進

- ターゲットに合わせたPFの構築 (市のホームページ、note*、SNS*等の活用)
- 継続的な情報発信 (集めた取組の発信、イベント、インタビュー等)
- データ活用に対する理解促進 (市民データサイエンティスト*の養成、アイデアソンの開催等)
- シニア向けデジタル講座やFab Citizen*の育成等の充実
- 住みやすさと幸福度の数値化・指標化(LWCI*)の調査・研究 (P13参照)

自治体名	神奈川県横浜市
名称	住民合意形成ガイドライン
導入時期	平成 17 年～ （平成 26 年改訂）
導入の背景	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり活動を本格的に行なおうとする市民の、「まちづくり組織の作り方が分かりにくい」「合意形成の手法が分からない」「地区計画を導入するために必要な賛同率はどの程度か」などの疑問に答えるために作成された。 ・地域でまちづくり活動に取り組んできた住民が合意形成を図るために、どんな工夫や知恵を出し合い、どのように活動を進めてきたかということについて、事例をもとにポイントを引き出す。
概要	<p>○章立て</p> <p><u>第 1 部 まちづくりにおける合意形成</u></p> <p>第 1 章 身近なまちづくりと合意形成</p> <p>第 2 章 合意形成を目指して</p> <p><u>第 2 部 地区計画策定に向けての合意形成</u></p> <p>第 1 章 地区計画とは</p> <p>第 2 章 地区計画の合意形成の流れ</p> <p>○各項目の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各項目のポイント ・本文 ・コラム ・お役立ち情報BOX（自治会・町内会の仕組み、アンケートの工夫等） ・事例紹介（実際にまちづくりで使用されたアンケート等の資料紹介） ・事例紹介（実際のまちづくりの活動や検討の事例）

～地区計画の合意形成の流れ～



https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/toshiseibi/suishin/minnade/hakkoubutu/goui-guide.files/0107_20191017.pdf

自治体名	スペインバルセロナ、兵庫県加古川市、京都府与謝野町、横浜エリア、渋谷エリア（博報堂・三井物産）等、日本・世界各地
名称	Decidim
導入時期	（開発時期） 2016年にバルセロナで誕生
導入の背景	（開発の背景） バルセロナの街路の大規模な歩行者空間化プロジェクトにおいて、多様な市民が参加して地区の未来をイメージしていくために、デジタルプラットフォーム上での熟議を通じて、多くの市民の賛成を得た提案を議会にかけることを目的に開発された。
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ オンラインで多様な市民の意見を集め、議論を集約し、政策に結びつけていくための機能を提供する参加型民主主義プロジェクトのためのツール。 ・ 都市や自治体から非営利団体、コミュニティ活動まで幅広く利用されており、世界各国の30以上の自治体での利用実績がある。 ・ 意見を言った人に対するフィードバックを行えるほか、計画策定間のプロセスが設計されており、徐々に議論を収束させていくことができる。 ・ デジタルな参加と、物理的な会議のプロセスを融合させ、デジタル・デバイドの問題を解消する。 ・ 議論やデータが可視化されるため、納得解が得やすい。

■ Decidim の活用 (スペイン バルセロナ)

- ・ バルセロナ市では市民参加型合意形成プラットフォーム (Decidim) が導入され、市民参加を支援。
- ・ 2015～2019年の計画策定時には4万人以上の市民が参加し、10,860の提案があり、約1500のプランが採択。
- ・ Decidim はバルセロナの他、ヘルシンキなど世界30以上の自治体で活用が進んでいる。

<Decidim活用事例: 将来バスネットワーク計画策定 (2016.7-2017.4) >

フェーズ1: バス再編ネットワークの提示 (2016.7.13~12.30)

- ・ BRT等の本線バスサービス、従来型バス路線、近隣バス路線の3層構造。
- ・ 都市の65%をカバーできるようになり、人口の95%がメインラインサービスを楽しむ

フェーズ2: 提案に対する住民説明会 (2017.1.11~2017.3.01)

- ・ 10地区の住民や組織からの意見を考慮 (14の説明会)
- ・ 説明会では、タブレットを活用したアプリを使用して、公共交通カバーされる移動をシミュレート結果を提示

フェーズ3: 検討プロセスのフィードバック (2017.2.28-2017.4.29)

- ・ 全体で384の提案があり、その検討経緯を公表。

◇提案 Perllongament de la línia H10 fins a Ernest Lluch

◇提案に対する意見

提案: カンプ・ノウの試合の混雑を緩和するためにH10ライン延伸してほしい

賛成: H8とH10は Ernest Lluchに行くべき

意見に対するコメント: H10がSantsを経由して、D20ラインの混雑緩和に貢献するとよい

延伸要望

<提案ルート>

出典: Decidim/バルセロナ (<https://www.decidim.barcelona/processes/xarxabus/steps>) の内容をもとに作成

自治体名	大分県大分市
名称	都市計画合意形成ガイドライン～住民主体のまちづくりの進め方～
導入時期	令和2年12月策定
導入の背景	<ul style="list-style-type: none"> ・住民主体のまちづくりは、ひとりの力だけではなかなか達成することは難しく、住民同士で互いに気づかい、地域住民が協力して望ましい状態に向けた話し合いや活動を積み重ねていくことで、住み続けたいまちがつくられていく。 ・地域住民が主役になって考え、住みよいまちを協力しながら「つくり・守る」まちづくりを進めるにあたり、その具体的な進め方や、進めていく上でのポイント等をまとめた。
概要	<p>章立て</p> <p>STEP1 気づきからまちづくりの発意へ</p> <p>STEP2 まちづくりに向けた組織づくりと話し合い</p> <p>STEP3 まちづくりのルール・計画の作成</p> <p>参考資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合い促進のためのツール集 ・まちづくり制度の概要と活用事例 ・まちづくりルール策定に関する Q&A ・まちづくりルール決定の手続き

話し合いの場での合意形成のコツ

- 話し合いの場で起こりがちなお困りごとについて、合意形成に向けたコツやヒントを示します。
- ここで示したコツやヒントが必ずしも正解かどうかは分かりませんが、日頃からコミュニケーション（あいさつや声かけなど）を積極的にとり、根気よく誠実な態度で話し合いに取り組むことが、合意形成において最も大切であると考えます。



メンバー間で価値観や目的意識が異なり、意見が対立してしまう…



それぞれの意見について分析し、メリット・デメリットや共通項を明らかにする

- 相対する意見については、それぞれの内容を分析し、メリット・デメリットを明確にすることで、意見を比較することができ、判断がしやすくなります。
- 一見異なる内容の意見でも、共通している内容が含まれている場合があるため、意見の共通項を掘りまらせることで、お互いの方向性を合わせることに繋がります。
- 話し合いの場が険悪な雰囲気となった場合は、少し休憩時間を設けるなどして場の空気をリセットし、感情的な言い合いにならないように留意しましょう。



まちづくりの専門的な話や用語が難しく、話についていけない…



分かりやすい説明とまちづくりの専門知識を学ぶ機会の提供に努める

- 都市計画に関する知識は日々の生活に馴染みが薄いこともあるため、だれもが理解できるよう、分かりやすく説明していく努力が欠かせません。
- 市の担当窓口や専門家に専門用語や制度を説明してもらうとまちづくりに対する理解が深まります。



話し合いの場で意見をあまり出さない人がいる…



意見を出しやすい雰囲気づくりを心がける

- 意見交換を行う前に共通の話題で世間話するなど、話しやすい雰囲気を作りましょう。
- 全員一回は発言できる機会を設けることも有効です。
- 内容が理解できず発言できない人には、後で個別に分かりやすく説明するなど、全員で情報を共有をしましょう。

2. まちづくりの組織をつくりましょう

まちづくりの検討組織を立ち上げる

- 理想のまちの実現に向けては、住民等が専門的な勉強を行いながら、地域の皆さんで話し合いを重ね、賛否などの確認を行い、時間をかけてじっくりと検討していくことが重要です。これらを行うために、まちづくりの検討組織を立ち上げることが一般的です。
- 地区計画などの法制度に基づいたまちづくりルールを定めようとする場合には、関係者間の合意形成が重要であることから、しっかりとした検討組織づくりが求められます。

地域に信頼される組織づくりに向けたポイント

組織づくりのプロセスを重視する

- まちづくりの計画やルールを決める場合は、区域内のすべての人に関わってくるため、検討に参加できないと不満を感じる人がいないよう、地区全体に公募等を行いましょう。
- 自治会・町内会や、地域まちづくりを検討する既存組織との連携を継続的に図ることは、組織への信頼感を得るためにも有効です。
- 組織は固定メンバーを基本としつつ、入退会が可能な仕組みとすることが望ましいです。

偏りがちな構成員（メンバー）で編成する

- まちには、積極的な人、消極的な人、先進的な人、保守的な人など、いろいろな価値観やもの見方をする人がいます。年齢層や性別、居住歴などバランスの良いメンバー構成に配慮しましょう。
- 区域内に店舗や事業者がある場合には、居住者だけでなく、事業者や土地の権利を有する方などもメンバーに含めることが大切です。地域にある主要な事業所の代表者などにも参加してもらいましょう。



地域に開かれた検討組織にする

- 検討組織の内容が固まったら、組織構成、役員、任期、活動内容など、会の規約を定め、透明性が高く、継続可能な組織運営に努めましょう。
- 検討組織での会議は公開にするとともに、検討内容を地域住民にお知らせすることで、密室で会議が行われているなどの誤解を生まないように留意しましょう。



しっかりとした検討組織ができると、コミュニティ活動が活発になるなど、今後のまちづくりがスムーズに進みやすくなります。

自治体名	東京都世田谷区
名称	一般社団法人世田谷トラストまちづくり
導入時期	平成 18 年 4 月 1 日設立
導入の背景	財団法人せたがやトラスト協会と財団法人世田谷区都市整備公社が、それぞれのまちづくりの専門性を統合し、今までに蓄積されたトラスト活動や住民ネットワークを継承発展させ、区民主体による良好な環境の形成及び参加・連携・協働のまちづくりを推進し支援するために設立した。
概要	<p>〈活動の3つの柱〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然環境や歴史的・文化的環境を保全した美しい風景のあるまちの実現 ・ 安全に安心して生き活きと住み続けられる共生のまちの創出 ・ 居住環境を魅力的に守り育む活動やコミュニティの形成 <p>【実施事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 世田谷のトラスト運動 ・ 民有地のみどり保全と創出（市民緑地制度、小さな森制度等） ・ 市民まちづくりの支援（まちづくり専門家派遣の支援、世田谷まちづくり交流会等） ・ まちづくりファンド ・ 学生、企業との連携 ・ 各種調査（国分寺崖線調査、世田谷区内野鳥調査等）

<p>トラまち絵日記</p> <ul style="list-style-type: none"> スタッフ絵日記と季節の見どころ 観覧の受け入れ・講師派遣依頼 メールマガジン 	<p>活動拠点紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動拠点一覧 市民緑地 小さな森 地域共生のいえ 空き家等地域貢献活用 まちなを元気にする拠点 緑地・公園・都市林 特別保護区 身近な広場等 ピシターセンター 財団事務所 	<p>イベント案内</p> <ul style="list-style-type: none"> イベント案内 	<p>世田谷のトラスト運動</p> <ul style="list-style-type: none"> 世田谷のトラスト運動とは トラストボランティア・団体バニトナー募集 トラストまちづくり会員の募集 寄附のお願い 寄附者一覧
<p>民有地のみどり保全と創出</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民緑地制度 小さな森制度 3軒からはじまるカーデニング支援制度 園芸相談 	<p>市民まちづくりの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域共生のいえづくり支援事業 街づくり専門家派遣の支援 世田谷まちづくり交流会 空き家等地域貢献活用相談窓口 世田谷トラストまちづくり大学 世田谷グリーンインフラの取組み まちづくり支援に関する協定 まちづくりDAY [NEW] 市民まちづくり支援に関するリンク集 	<p>まちづくりファンド助成制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ファンド概要 助成案内 ファンド事業の公開行事 ファンド運営委員 当年度助成グループ一覧 ファンド助成事業のこれまでの成果 まちづくり活動知恵袋 まちづくりネット文庫 	<p>学生・企業との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学連携 企業・団体ボランティア
<p>調査</p> <ul style="list-style-type: none"> 国分寺崖線調査 世田谷の近代建築調査 世田谷の産物目録 世田谷区内ツバメ繁殖調査 	<p>発行物・グッズ</p> <ul style="list-style-type: none"> 財団情報誌「人・まち・自然」 住民主体のまちづくり活動情報紙「結んでひらいて」 「トラストネットワーク」 	<p>トラまち子どものページ</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども情報誌「ちびモリ」 ちびモリ図鑑 子ども会員の案内 まちなを元気にする 	<p>過去のプロジェクトページの閲覧へ</p> <ul style="list-style-type: none"> 過去のプロジェクト一覧



自治体名	東京都練馬区
名称	みどりのまちづくりセンター
導入時期	練馬まちづくりセンター（平成 18 年開設）→みどりのまちづくりセンター（平成 28 年名称変更）
導入の背景	<p>練馬区は、都心近くに立地しながら、豊かなみどりが残る、自然と都市が融合したまちである。雑木林や湧水池などの水辺空間や武蔵野の面影が残る貴重な自然など、数多くの魅力がある。区では、こうした練馬区ならではの魅力あるみどりを未来に残していくために、貴重なみどりを地域で守る区民協働の取り組みを進めている。</p> <p>「都市計画マスタープラン」や「まちづくり条例」を検討する中で、区・住民・事業者が協働してまちづくりを推進するために前身である練馬まちづくりセンターが開設された。その後、練馬みどり機構の解散に伴い事業を一部引き継いで、現在のみどりのまちづくりセンターとなった。</p>
概要	<p>練馬区民が住み続けたいと思えるような快適な生活環境と豊かな地域社会を実現するために、区民の主体的なまちづくり活動を支援するとともに、区民・事業者・行政から独立し連携を図る、中間的な立場から協働型まちづくり事業を推進する。</p> <p>みどりのまちづくりセンターは、「きっかけづくり→基盤づくり→計画づくり」の3つのステップで地域のまちづくりを行う。</p> <p>〈センターの5つの役割〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 区民のためのセンター 2. 練馬区の地域課題に対応できるセンター 3. 区民のまちづくりネットワークを育むセンター 4. 区民・事業者・行政をつなぐ役割を担うセンター 5. まちづくり専門家の組織としてのセンター <p>〈区民まちづくりを支援する制度〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ヒトの支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門家派遣 ・ 大規模建築物にかかるアドバイザー派遣制度 2. モノの支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ まちづくり団体登録 3. 資金の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ まちづくり活動助成事業 ・ まちづくり条例にもとづく地区まちづくり 4. 情報の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報発信の支援



地域のまちづくりを
はじめよう

まちゼンのお知らせ&イベント

月刊まちゼンナビ
 地域のご近所暮らしが
 楽しくなるメルマガ
 登録団体からの情報発信もできます！

Tweets by @nerimachi

みどりのまちづくりセンター
 @nerimachi

【8/9 (火) 〆切】空き家セミナー&
 個別相談会のお知らせ

日時：令和4年8月13日(土)
 10:00~13:00

場所：右神井公園区民交流センター

参加費：無料

定員：予約優先 各20名

※詳細や申込方法は、センターHPを
 ご覧ください。

nerimachi.jp/eventinfo/akiy...

Embed [View on Twitter](#)

みどりのまちづくりセンター
 7月のページ「11.11.11」

「バリアフリー整備のツボがわかる」
 建築家 藤原 誠
 建築家 藤原 誠
 建築家 藤原 誠

事業者向け UD 研修

講師 2022年11月30日、12月21日

バリアフリー整備のツボがわかる！ 事業者向けUD研修

だれもが出かけたくなるまちを実現するために、「建築でできること、みんなができること」を考えます。

お申し込みはこちらから →

「空き家」でまちづくり活動団体
 空き家
 空き家

お知らせ 2022年7月28日

令和4年度『あなたのまちで頑張るまちづくり活動団体をご紹介』を紹介します。【まちづくり活...】

令和4年度、6月末までにまちづくり活動助成が決定して、まちづくり活動に取り組んでいる団体と活動テーマ...

令和4年度
まちづくり活動助成事業
 たまご部門
助成申請団体募集

募集 2022年9月15日

令和4年度まちづくり活動助成【たまご部門】の助成申請団体を募集しています

まちづくりを始めるにあたっての活動に対する助成事業です。9/15までに事前相談にお越しください。

空き家
 セミナー&個別相談会

だれもが出かけたくなるまちをつくるために...
建築でできること
みんなのできること

つながるカレッジ相りま みどり分科
つながるカレッジ相りま
 コミュニティ・
 ガーデナーコース